

毎日、安全で美味しい水をお届けします！

すいげん

厚岸町水道広報

No. 8

2011

夏

【特集1】水道事業会計

平成23年度予算と
事業計画

【特集2】水道料金改定を考える

なぜ、料金改定が
必要か

●Information☆

「水洗化工事には助成制度が
あります」ほか

●すいどうNEWS

大別浄水場が完成

●水のある風景No. 6

宮園配水池から見る厚岸市街と
厚岸湖・湾

老朽化が進む宮園配水池。今号「水
のある風景」でも紹介しています

平成23年度予算と事業計画

平成23年度の収益的収支の予算額は、収入が前年度当初比1.2%減の2億2,525万4千円、支出は0.5%減の2億4,138万8千円で、この結果、収支差額では、1,613万4千円の不足が生じる見込みです。3年連続で収支不足のスタートとなりましたが、今年度は尾幌川に架かる水管橋配水管などの布設替えや宮園配水池改築更新に向けた実施設計を行います。

業務の予定量

業務の予定量は平成23年度の水需要等の見通しを立てたものです。給水戸数は、前年度比14戸（0.3%）増の5,110戸ですが、

年間総配水量は12,939立方メートル（1.0%）減の131万4,515立方メートルの見込みで、一日の平均給水量も35立方メートル（1.0%）減の3,601立方メートルの見込です。（表1）

■表1 業務の予定量

区分	単位	23年度	22年度	増減	率(%)
給水戸数	戸	5,110	5,096	14	0.3
年間総配水量	m ³	1,314,515	1,327,454	△ 12,939	△ 1.0
一日平均給水量	m ³	3,601	3,636	△ 35	△ 1.0

■図1 収益的収支

水道水を作り、ご家庭などにお届けするための経費と財源

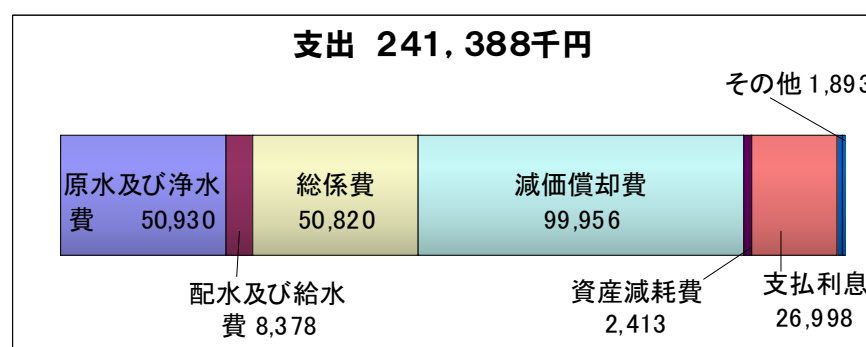
【主な科目の説明】

◆収益的収支

科目	説明
給水収益	水道使用料
原水及び浄水費	水を作る費用
配水及び給水費	水を各家庭等に配る費用
総係費	人件費や事務費など
減価償却費	水道施設等の資産価値の目減り分を費用計上したもの
支払利息及び企業債取扱諸費	借入金の利息の返済額

◆資本的収支

科目	説明
企業債	水道施設整備のための借入金
建設改良費	施設の建設・改良に係る費用
企業債償還金	借入金の元金の返済額



予算の概要

水道事業のうち、5,000人を超える水道事業は一般に上水道事業といい、地方公営企業法が適用され、企業会計方式の会計処理を行うこととされています。このため、上水道事業の予算は、水道料金などの収入で営業経費や施設の維持管理費用などを賄う「収益的収支」と企業債などにより水道施設の建設改良などの投資的な支出を賄う「資本的収支」の2本立てとなっています。

●収益的収支

収益的収支で収入の柱となる給水収益（水道使用料）は前年度当初比283万7千円（1.2%）減の2億2465万7千円で、収入総額では同じく1.2%減の2億2,525万4千円を見込んでいます。

一方、支出は企業債の借り換えなどによる支払利息の減（4.7

%減）などで支出総額では131万円（0.5%）減の2億4,138万8千円を見込みましたが、収支差額では1,613万4千円の不足が生じる見込みです。（図1）

●資本的収支

資本的収支の収入総額は前年度当初比1,263万4千円（23.6%）増の6,627万3千円。主な収入である企業債は1,500万円（33.4%）増の5,990万円です。支出総額は2,605万6千円（15.4%）増の1億9,492万2千円で、建設改良費が950万円増、メーター設備費が1,877万1千円増、企業債償還金が237万5千円増となっています。（図2）

資本的収支の不足額1億2,864万9千円は、過年度分損益勘定留保資金7,055万2千円、当年度分損益勘定留保資金5,255万6千円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額554万1千円で補填することとしています。

23年度の主な事業

■配水管布設替等事業 32,000千円（△11,250円）

道路改良に伴う配水管の布設替えや水圧不足の解消を図るため新たな配水管の布設を行います。

◇尾幌水管橋配水管布設替工事、湾月町横3の通り配水管布設替工事、望洋台4号線配水管布設替など6件



尾幌水管橋配水管

■機器等更新事業 11,000千円（2,200千円）

古くなった配水流量計や送水ポンプ設備などの更新を行います。

◇末広配水池テレメーター整備など3件

■設備改修事業 10,000千円（10,000千円）

浄水場の中間塩素注入設備改修を行います。

■メーター設備事業 52,285千円（18,711千円）

水道メーター（計量器）の新設や検定検査の有効期間満了に伴う取り替えを行います。

◇新設、検満合わせて792個

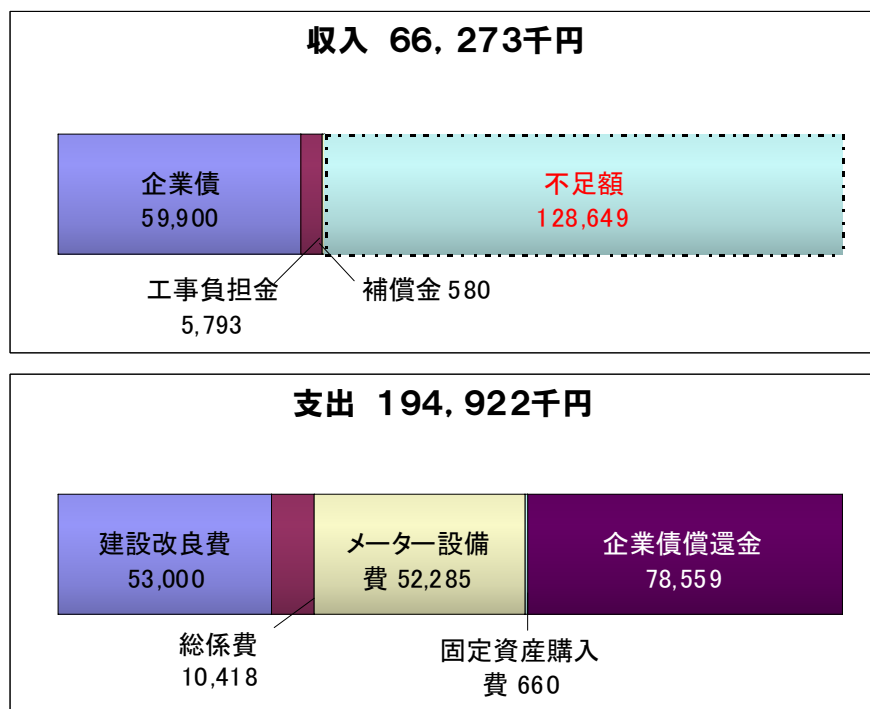
■宮園配水池改築更新事業 10,000千円（10,000千円）

宮園配水池の改築更新に向けた実施設計を行います。

※（）内は前年度当初比額

■図2 資本的収支

水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源



〔特集2〕水道料金改定を考える

なぜ、料金改定が必要か

生活や社会経済活動に欠かせない水。安全で安心な水を安定してお届けするためには、取水から配水まで多くの水道施設と高度な浄水処理が必要です。そして、この体制を維持するためには、しっかりとした財政基盤が必要不可欠です。町は今年1月、厚岸町水道事業経営審議会に赤字が続いている水道事業の経営

健全化について諮問し、5月23日に答申をいただきました。

現在、この答申を踏まえ、また、使用者の皆さんからの意見も参考に、料金改定に向けた作業を進めていますが、ここでいま一度「なぜ料金改定が必要か」を考えます。

収入はますます減っていきます

これまでもお伝えしてきたとおり、現在の水道料金は昭和55年に改定したもので、以来、30年以上が経過（簡易水道は平成16年に現在の料金に統一）しています。

この間、町の発展に合わせて給水区域の拡張を進めるとともに、臭いなどを取る活性炭処理施設整備など浄水処理の向上を図り、安全で良質な水道水の安定供給を維持してきました。また、同時に業務の外部委託によ

る職員数の削減や給与の削減など、経営の効率化とコストの削減に努め、19年度まで黒字経営を維持してきましたが、人口の減少や少子高齢化などの影響で収入の減少が進む一方、これまで整備した施設の維持管理コストなどがかさみ、20年度から赤字に転じ、現在まで4年連続の赤字経営となっています（図1）。今後も将来人口が減少すると予想される中、料金収入はますます減る見込みです。

水道事業会計では、赤字が生じた場合に備えて、利益の中から内部留保資金（貯金）を積み

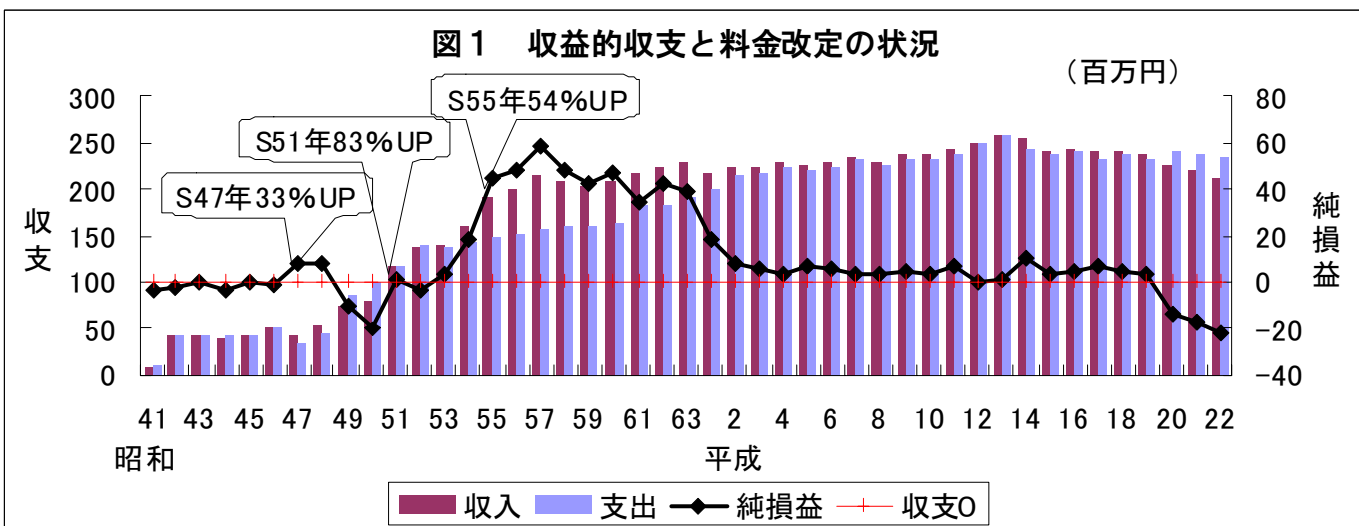
立てています。現在はこの貯金を使って穴埋めしていますが、このままだと、来年度で底をつき、25年度から累積赤字が生じる見通しです。

老朽施設の更新と耐震化が必要になっています

水道事業は取水から浄水、そして配水まで、皆さんに安全で安心な水を安定してお届けするため多くの施設が必要です。

浄水施設は昭和49年に急速ろ過方式の厚岸浄水場を門静に建設し、36年が経過。耐用年数に

図1 収益的収支と料金改定の状況





管の老朽化は漏水事故に繋がります

はまだ間がありますが、設備や機器類は適時適切な修理と更新が必要です。

送水施設は厚岸浄水場から宮園配水池、床潭配水池、末広配水池までの区間に口径75[㍉]から350[㍉]の送水管が布設され、総延長は約7km。このうち、厚岸浄水場から宮園配水池までの管が35年を経過し老朽化が進んでいます。

配水施設は湖北から湖南地区に水を運ぶ厚岸大橋の橋梁添架管(きょうりょうてんがかん)を含め、口径300[㍉]から40[㍉]までの配水管が町内を網羅し、総延長は約150km。このうち10年以内に耐用年数の40年を迎える管が5割近くあり、今後、計画的な更新が必要です。また、一番古いもので既に耐用年数の60年を超えている宮園配水池は、現在、改築更新計画を進めています。

このほか、施設の耐震化も課題です。耐震化には多額の費用が必要となるため基幹管路の一部しか済んでいない状況です。浄水場や配水池などの基幹施設や重要管路について、施設の更

新に合わせて耐震化を図る必要があります。

どのような経営努力をしてきたのか

水道事業では、地方公営企業としての独立採算と現行料金水準を維持するため、業務の外部委託や職員数の削減など経費の削減に努めてきました。主な費用を10年間で比較すると人件費は職員減や給与カットなどで12年度と比べ約2,700万円減額となっています。また、利率の高い借入金を低いものに借り換えて支払利息を約1,800万円少なくするなど支出全体で約1,000万円減額(図2)となっていますが、収入は約2,800万円の減(図3)で、支出の削減努力が減収に追いつかない状況です。

どうして、30年以上も据え置いてきたのか

現行料金に改定した昭和55年の引き上げ率は、全体平均で54%の大変大幅なものです。また、

図2 主な費用の比較

(単位:円)			
年度	H12	H21	比較増減
人件費	62,588,652	35,107,613	△ 27,481,039
薬品費	13,235,793	11,899,476	△ 1,336,317
動力費	10,577,941	10,054,808	△ 523,133
修繕費	11,325,400	6,626,649	△ 4,698,751
委託料	16,617,610	29,716,053	13,098,443
減価償却費	72,346,938	97,101,876	24,754,938
資産減耗費	2,542,215	7,620,356	5,078,141
支払利息	48,127,847	30,092,559	△ 18,035,288
その他	10,453,843	8,910,725	△ 1,543,118
支出合計	247,816,239	237,130,115	△ 10,686,124

図3 収入の比較

(単位:円)			
年度	H12	H21	比較増減
収入	248,269,643	219,651,607	△ 28,618,036

それ以前には、51年に83%、47年に33%と、2度にわたり大幅な引き上げを行っており、水需要の増加に対応した水道の普及拡大期に、町民の皆さんには非常に大きな負担をしていただきました。町では、水道料金は日常生活に直結したものであり、できるだけ安く、長期にわたり安定的に維持したいと考え、55年以降、なるべく町民の皆さんにご負担をかけないように、経費の削減等に努め、料金改定を行わないできました。

今後も安全・安心な水を提供し続けるため、料金改定が必要です

このように、今後も安全・安心な水を安定して提供していき、早急に収支の改善を図り、施設の維持更新をしっかりと行っていける経営基盤を確保するため、独立採算の事業として料金改定せざるをえない状況です。

上下水道に関するお知らせ

水洗化工事には 助成制度があります

下水道が整備された地区でトイレを水洗化して下水道に接続する場合は、皆さんご自身の負担で行っていただくことになりますが、町ではトイレの水洗化を普及促進するため、補助金と貸付金の二つの助成制度を用意しています。

助成を受けるにあたっては、二つの制度のうち、どちらか一つを選んでいただき、町税や受益者負担金の未納がないことや、貸付金の場合は保証人を付けるなどの条件があります。詳しくは水道課へお問い合わせください。

なお、水洗化工事は、厚岸町で指定している工事店でなければなりませんのでご注意ください。

●補助金

供用開始から3年以内にトイレの水洗化工事をされる場合の

助成制度です。助成額は、トイレ1基の場合で排水設備工事とトイレ改造をあわせて、供用開始1年目で76,000円、2年目は64,000円、3年目では51,000円です。

●無利子の貸付金

トイレ1基の場合で600,000円を上限に、町が定める金融機関から工事資金を無利子で借り入れができます。

●問い合わせ／業務係内線TEL177～180

※このほか、厚岸漁業協同組合では、組合員向けの独自の融資制度がありますので、詳しくは同漁協信用共済部信用課TEL52-3151へお問い合わせ願います。

水道を使用するときや 中止するときは届け出を

水道を使用するときや中止するときは、1週間前までに役場水道課に届け出が必要です。

●使用開始の時

住所、氏名、電話番号、使用

下水道受益者負担金

納付書を発送しました。 納期内納入にご協力を。

下水道供用開始区域の土地の所有者等に、下水道建設費の一部を受益者負担金として負担していただいています。今年度の納付書は7月に受益者の皆様へ郵送しましたので、ご確認をお願いします。

【平成23年度納期限】

- ◆1期 23年8月1日（月）
- ◆2期 23年9月30日（金）
- ◆3期 23年12月26日（月）
- ◆4期 24年2月29日（水）

を開始する日、以前に住んでいた住所などの届け出が必要です。また、以前に水道を利用されていた方のお名前もわかればお知らせください。

●使用中止の時

住所、氏名、中止する日と転出先などの届け出が必要です。中止の届け出が遅れますと、使

水道料金・下水道使用料は納期限までに納めましょう。

水道料金・下水道使用料は、水道・下水道の利用と水の供給というサービスを受ける為にその負担として納入していただくものです。水道・下水道事業は、みなさんから納入していただく料金により経営が成り立っています。

■料金の納め方

●集金／毎月、町で委託している徴収員がご自宅へ伺いますので、徴収員にお支払いください。

●自主納付／毎月、納入通知書を郵送しますので、町内の金融

機関（ゆうちょ銀行は除く）、役場、湖南地区出張所、上尾幌駐在所でお支払いください。

●口座振替／毎月25日（休日の場合は翌営業日）にご指定の口座から振替されます。口座振替を利用していただく場合は、通帳と印鑑をお持ちのうえ、取扱金融機関の窓口で手続きしてください。

【取扱金融機関】北洋銀行、大地みらい信用金庫、厚岸漁業協同組合、ゆうちょ銀行、釧路太田農業協同組合、浜中町農業協

同組合

■料金の軽減

生活保護を受けている方や低所得の方は、水道料金・下水道使用料の軽減（基本料金が半額になります）を受けることができます。毎年、申請が必要です。詳しくは、役場水道課へお問い合わせください。

●問い合わせ／業務係（内線177～180）

納期限は毎月末です！

用されていない期間についても料金をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

●届け出先／業務係内線TEL177～180

貯水槽は適切な管理を

水道水をいったん水槽に貯めて利用している水道は、「貯水槽水道」といい、貯水槽設置の方が管理することになっています。貯水槽の大きさが10m³を超えるものは水道法で「簡易専用水道」として、10m³以下のものは町の条例で「小規模貯水槽

水道」として、それぞれ水質管理などを行うよう定められています。安全・安心な水が使用できるよう、適切な管理を行いましょう。

●問い合わせ／水道施設係(内線175・176・185)

水道メーターの検針にご協力を

水道の使用水量は、検針員が毎月25日から月末までの間に水道メーターを検針し、その月の使用水量と料金をお知らせしています。水道メーターの近く

に障害物を置いたり、犬をつながないようにご協力をお願いします。

建物を解体するときは届け出を

建物を解体し、水道や下水道を撤去するときは、厚岸町が指定した給水工事事業者・排水設備等指定工事店でなければできません。漏水事故を防ぐためにも、必ず水道課に届出をした上で、撤去を行ってください。

●問い合わせ先／水道施設係・175～176、下水道施設係・172～173

大別浄水場が完成

大別地区の水不足を解消するため道営畑地帯総合整備事業で平成18年度から整備を進めている「営農用水道」の大別浄水場が太田3の通り36に完成しました。

この地区の営農用水施設は昭和50年から平成4年にかけて整備されたものですが、経営規模の大型化が進んだため、現在の施設能力では十分な水量を供給できない状況でした。

完成した浄水場は、配水池(容量429m³)と滅菌設備、ポンプ設備で構成。同事業で新たに設けた取水施設(深井戸)から送られた水を消毒して各戸に供給します。

6月15日と16日の両日、釧路総合振興局主催の施設見学会が開かれ、太田中学校の生徒をはじめ、地域の方が多数見学されました。



〔上〕完成した大別浄水場



〔左〕施設見学会で説明を受ける地域の皆さん(場内のポンプ室)

すいどう
NEWS

すいげん No. 8

2011年夏号(通巻44号)
平成23年8月1日発行

■発行／厚岸町
■編集／水道課
〒088-1192
厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-4284
E-mail/
aks_suidou@pop2.marimo.or.jp



宮園配水池から見る厚岸町市街地と厚岸湖・湾の眺め。昭和49年まではこの場所に浄水場もありました

水のある風景

水のある風景 No. 6

宮園配水池から見る厚岸市街と厚岸湖・湾

真龍神社から西北へ約80m上った場所に上水道の水がめ、宮園配水池があります。標高約50mの落差を利用し、湖北市街地から厚岸大橋を渡って湖南市街地、さらに筑紫恋、床潭、末広地区まで町の全世帯の約9割を占める約4,000世帯に水道を供給しています。

宮園配水池には大小3つの池があり、一番古い池は旧日本海軍から譲り受けたもので既に耐用年数の60年を過ぎています。また一番容量の大きい池(1,880 m^3)は昭和36年から38年にかけて緩速ろ過池として築造したもので、49年に配水池に転用し現在まで使っていますが、いずれも早急な手当が必要となっており、現在、改築更新計画を進めています。この場所に立って眼下に広がる町並みを眺めると施設の重要性が一層感じられます。

編集後記

▼「もしも優勝したら泣きますか」準決勝の翌日、そう尋ねられたなでしこジャパンの佐々木則夫監督の答えは「いや一泣かないでしょう。僕はなでしこたちの強さをしているから」。彼女らとともに佐々木監督が積み重ねてきた日々の重みと信頼関係が伺えた(7月18日の総合スポーツサイト「NumberWeb」から)。▼「偶然は準備の無い者には微笑まない」フランスの細菌学者、ルイ・パスツールの名言です。当然、準備は

明確な目的目標の下に行います。頂点を目指して重ねた努力と練習が、なでしこの花を咲かせました。何事にも明確な目的目標を持ち、準備を怠らないよう臨みたいものです。

(常)

▼3月の東日本大震災は各方面に多大な被害をもたらしました。被災地には全国各地から水道関係者が応急給水や応急復旧に入り、大きな役割を果たしました。水道は「大きな設備」ですが、それを動かしているの

は、やはり「人」なんだと思います。また、改めてライフラインとしての水道の重要性を感じました。

(遠)

▼厚岸の水道も施設の維持管理費などの増加、給水収益の減少と課題が山積みしています。しかし、まだまだ出来ることは何かあるはずと。公私ともに今年は、第一歩を踏み出したいものです。

(宮)